

2025 年度

ニチイキッズ吉成第二保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月4日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもたちの好奇心や意欲などを大切にしながら毎日を楽しく過ごすことを心掛けた。
子どもの発達援助	子どもの姿を把握し全職員に共有、発達状態や生活環境等を的確に捉えながら関わった。今後も、心身の安定を図り、子どもたちの意欲や主体性を育みありのままの姿を受け止め、きめ細やかな保育を行っていききたい。
保護者に対する支援	送迎時には明るく笑顔で対応し、その都度出来事や小さな成長でも密に伝え、保護者と共に喜び合うことを大切にしたい。また様々な行事を実施、保護者参加の機会を設け子どもたちが今感じていること、表現や姿に触れられるように工夫したい。
保育を支える組織的基盤	園内研修や職員会など定期的実施、様々な事項について情報共有は行ったが、研修内容や方法について形式的になっていることが課題である。また、職員同士が切磋琢磨し専門性を高め合って園内研修の充実、外部研修へ積極的に参加し、職員一人一人が自身の資質向上と園全体で質の高い保育につながる体制を整えていきたい。

総評
一人ひとりの子どもの発育・発達の状態や過程、生活環境等を把握・共有し適切な関わり方について検討し、全職員で連携を図りながら子ども主体の保育を目指した。保育者が子どもたちに寄り添い、関わりながら保育を行い、その中で専門職として職員の自己研鑽が課題であり、心理的安全性の高い職場環境づくりにも努めていきたい。